

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和7年2月（着任9ヶ月）
主な活動	1. 川辺二日市 2. 川辺高校説明会 3. 協力隊企業交流会【kagompass】

1. 川辺二日市

2月1日、2日に川辺で川辺二日市が行われました。川辺高生もボランティア、部活動、募金活動で参加していたので取材のために参加しました。1日目は土砂降りであまり訪れる人が少なく、初参加の祭りの実態が掴めなかったのですが、2日目は通常通りの祭りの開催で多くの観光客や地元の方々が訪れました。この川辺二日市は県内三大市の一つとして数えられており、川辺商店街のメインストリートにずらっとテントが並ぶ非常に盛り上がりのあるイベントになります。その人の多さはまるで原宿の竹下通りのように歩いて進むのにもかなりの時間を要するほどの賑わいでした。このメインストリートも1.3kmと長さがあるので、その通りがテントと人で埋め尽くされているというイメージです。普段のメインストリートは静かで、小中高生の登下校の際に賑やかになる印象でしたが、そこからは想像できないほどの人の多さに正直驚きました。テントでは地元の経営者から県外の経営者まで幅広く出店していて、伝統工芸品から食品、玩具等、バラエティに富んだプログラムとなっていました。お客さんも子供からお年寄りまで様々な場所から集まってきており、みなさん冬のお祭りをとても楽しまれているようでした。

私も夏祭りのような楽しくどこか懐かしい雰囲気味わうことができ、参加してよかったと感じておりました。

地域おこし協力隊活動報告書

川辺高生は、地域住民から構成される祭りの実行委員会と連携して、出店のお手伝いやイベントの補助スタッフにボランティアとして参加していました。細かいサポートをしつつ、地元の方々とコミュニケーションをとりながらお祭りの運営に貢献していました。部活動としては吹奏楽部の演奏に合わせて書道部が書道パフォーマンスを行ったり、なぎなた部によるリズムなぎなたで会場を盛り上げました。その後は書道部による一筆色紙のプレゼント、美術部によるイラストのプレゼントも行われ、大勢の人が列をなして学生たちと交流していました。生徒会ではユニセフの募金活動と SNS 用の撮影を交代で行なって、ここでも多くの来場者の方々と交流していました。私は、この撮影指導に入って学生たちの活動を遠くから見ていましたが、川辺高校の魅力をまた再確認できました。それは高校時代に地域の大人たちと多くの交流ができることは中々できないことだと思うので貴重な経験をつめるという点です。高校生という多くの情報を柔軟に吸収できる時期に、様々な世代の多様な暮らし方をしている大人たちに出会うことで将来のことや考え方の選択肢を増やすきっかけに繋がると思うのです。この経験をより多くつむことで社会に生きることがどういうことなのか、自分の生きたい生き方を考えることに繋がられるのではないかと考えています。

勉強だけではなく、人生をどのように生きるのかということを早い段階で少しでも心に芽生えられるような環境こそが、川辺高校にあると思うのです。この魅力を発信していこうと思います。



2.川辺高校説明会

2月19日に川辺高校にて、先生方向けの「地域みらい留学」と川辺高校の魅力発信に関する説明会が行われ、市役所職員と共に説明を行いました。市役所の方からは「地域みらい留学」が地域にとってどのような効果があるのか、地元の高校生に対してどのようなメリットがあるのかをデータと共に先生方に共有がなされました。私の方からは、地域みらい留学を行う上で学生に川辺高校を選んでもらうためにどのようなことをしていけば良いのか提案をさせていただきました。先生方からは現場での高校生たちの現状を加味した上での様々なご意見やご質問をいただき、どのように地域、学校を繋げて行くべきか再度考慮すべき部分が明らかになりました。質問や意見を聞く中で先生方の学生に対する真剣な向き合い方が伝わってきて、改めて川辺高校の良さを感じられる時間となりました。このご意見などを大切に より良い魅力作りを続けていきます。

3. 協力隊企業交流会【kagompass】

2月21日にカクイックス交流センターにて協力隊と企業のマッチングイベントである【kagompass】が開催されました。

8企業と各地域の協力隊8名が参加して、企業側が抱えるミッションに対して協力隊がどのようにアプローチができるのかの話し合いがなされました。其々の企業が魅力的な事業を行なっていて鹿児島にもこんなに面白いことを実現させている方々がいると知れる有意義な時間となりました。実際にこのイベント後に仕事に繋がる協力隊もいて、活動自体の広がりになりそうな展開になっていました。私もお声がけいただいた企業がありましたので、今後もどのように進められるか話し合いをしていこうと思っています。実際、来ていただいた企業は8社でしたが、このようなイベントがあることで、鹿児島の魅力を再発見できるので今後も積極的に参加していきます。